

まことの道【水無月】六月

みなづき

かぐ山の

をのへに立ちて見わたせば

やまとくに

大和国はら

さなへ

早苗とるなり



上田秋成

家庭祭祀のおすすめ

いつの世も

手を合やすころ

変わらずに



神宮大麻

(伊勢の神宮のお神札)と

氏神様

(土地の神様のお神札)を

おまつりしましょう。



神奈川県神社庁ウェブサイト

まことの道

六月

かぐ山のをのへに立ちて見わたせば

やまとくに

さなへ

大和国はら早苗とるなり

うえだあきなり
上田秋成

自由に一枚づつお持ち下さい。

神奈川県神社庁

〒235-0019横浜市磯子区磯子台20-1

TEL:045(761)6387

FAX:045(761)0100

E-mail:k-jinjacho@kanagawa-jinja.or.jp



6月の 神事

●水無月大祓

みなづきおほはらえ 水無月大祓（六月三十日）

六月は、唯一祝日のない月ですが、一年の丁度半分、折り返しの時期にあたる節目となります。その六月の末には古来より「大祓」神事が行われます。

大祓は、我々日本人の伝統的な考え方に基づくもので、常に清らかな気持ちで日々の生活にいそしむよう、自らの心身の穢れけが、そのほか、災厄の原因となる諸々の罪・過ちを祓い清めることを目的としています。

この神事は、古事記、日本書紀に見られる伊弉諾尊いざなぎのみことの禊祓みそぎはらえを起源としており、宮中においても古くから大祓が行われてきました。中世以降、各神社で年中行事の一つとして普及し、現在では多くの神社の恒例式となっています。